

表紙に使用している画像は、小川和紙の「雲龍紙」です。楮の長い繊維を混ぜて漉きあげます。障子に使われると外の光を通してとても美しく見えます。

P.4

平成27年度決算
ただ
議員が質した
253のこと

P.10

議員のつぶやきにも注目
一般質問に
10人が登壇



カップル障害物レースで粉まみれ（小川地区民体育祭）

No.81 おがき 2016 秋 おがき 9月定例会 埼玉県小川町議会



わたしのひとこと「だから小川が好き」

P.17



長倉正昭さん

小川町に住んで30年。つくづくいい町だと思います

奥平美佳さん

自然が豊かで、本当に住みやすく、いい町です



P.18

町立保育園
で聞いた
15人の声

各ページ下にも
町のみんなから
ひとこと！



地域の活力向上 と 地方創生 は

地方創生元年といわれた平成27年度は、「第5次総合振興計画」をはじめ、「小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「小川町地域公共交通網形成計画」等、今後の町の展望や行く末を左右する重要な計画の策定が実施されました。決算規模は、前年度と比べて15億4,700万円減りました。ここでは、議会が注目・指摘した事業を中心に紹介します。

ひと・しごと創生総合戦略」「小川町地域公共交通網形成計画」等、今後の町の展望や行く末を左右(14.6%)と大幅な減少となりましたが、各種補助金や交付金を得て、的確な財源確保が図られました。

評価

- ① 町税の収納率が向上 (86.7%→87.7%)・特別収納対策室の活躍
- ① ホームページ広告掲載料が増収 (28万円→83万円)
- ② 地域防災計画の改訂・防災マップの作成
- ② 第5次総合振興計画・都市計画マスタープランの策定
- ② セタまつりの成功
- ② 防災備蓄品の拡充
- ② 計画的な橋梁点検の実施
- ② 各種予防接種の実施
- ② 特定健診受診率が増加傾向 (36%→38.6%)
- ② 健康長寿サポーター養成講習の実施
- ② 生ごみと廃食用油の資源化(ごみの減量化に寄与、環境基本計画の推進) など

太陽光発電設備・蓄電池を整備

庁舎・パトリア・竹沢公民館・八和田公民館の4拠点に災害時の非常用電源を確保。



安心！非常用電源の確保

農業振興と担い手の拡充を支援

枝豆の選別・人参の掘削・小松菜の袋詰め等の機械設備購入を補助。また、青年就農給付の実施。



農業支援！機械購入補助

町立学校にエアコンを設置

小川小・大河小・東中・西中に、ガスを熱源とした空調設備を設置。



快適！涼しい教室に

「考え・話し合い・学ぶ合う学習」の推進

西中・大河小・竹沢小をモデル校に、思考力・判断力・表現力を効果的に高める学習法の実践。



相互学習！3校をモデルに

第23回

小川和紙マラソン大会の成功

全国から4855人の参加申し込みを受け、「小川町」「小川和紙」のPRに寄与。町の活性化につながった。



全国ランニング大会100選 19年連続入選！

親子クッキング教室の開催

2日間で30人の参加。幼少期からの食育の推進に寄与。



おせち料理づくりに挑戦！

課題

- ① 町税の減収 (38億8000万円 → 37億3000万円)
- ① ふるさと納税の取り組み
- ② 学校生活サポーターが減員 (10人→6人)
- ② リニューアルしたホームページの更新・活用
- ② 旧上野台中の活用
- ② 町道228号線(254号バイパス迂回路) 未完成
- ② 学童クラブを運営する保護者会の負担
- ② 町立保育園の充実(低年齢児・潜在的待機児童・一時的保育事業の受け入れ体制)
- ② 働く世代の女性支援がん検診の受診率 (子宮頸がん11.5% 乳がん10.0%)
- ② 町内産木材の利用促進 (住宅リフォーム補助4件) など

PickUP

地方創生 先行型事業

「小川町まち・ひと・しごと創生総合戦略」「小川町地域公共交通網形成計画」の策定!!



- ・就学支援助成金(2万5000円)
- ・いきいきタクシー券事業
- ・第3子以降の学校給食費を助成
- ・多子世帯の保育料軽減事業
- ・プレミアム付き商品券の発行
- ・ご当地キャラクターで町おこし事業(事業完了ができず、成果なし。補助金350万円を返還)

議員が ただ 質した 平成27年度 決算 253 のこと

Heisei 27th Closing Question

9月定例会は「決算議会」と称され、前年度の一般会計及び各特別会計の審査が中心になります。今定例会における総質疑数は、なんと253!! 数もさることながら、内容も的確・充実したものとなりました。ここからは、各会計の決算等に係る質疑を要約してご紹介。ぜひ、会議録と合わせて、熱心なやり取りをご一読ください。

すべての項目はインターネットからご覧いただけます。「小川町議会 会議録」で検索してみてください。
※今定例会の会議録は11月末ごろから見られます。

快適な学習環境を提供 全町立学校にエアコン設置

子育て・教育

Q 4町立学校（小川小・大河小・東中・西中）において、ガスを熱源とするエアコンが1年遅れで設置されたが、使用に問題はなにか。また、設定温度等の適切な利用に係るマニュアルは作成されたのか。

A 電気が熱源のエアコン・ガスが熱源のエアコンは、どちらも問題はなく、順調に使用しています。また、使用に当たつてのマニュアルやルール等は特に設けていません。各校で責任を持って適切な使用を心がけています。あわせて、電気を熱源とする学校では、階ごとに使用開始時刻をずらす等の工夫で、電力削減に努めています。

Q 埼玉県教育委員会が市町村に委託・推奨している「考え、話し合い、学び合う学習」推進事業だが、現状は西中学校での取り組みに限られている。今後の展開は。

A 事業は、3カ年の計画で西中学校を対象とし、初年度は大河小で実施しました。2年目に当たる平成27年度は、竹沢小・西中を含めた3校で取り組み、研究発表を行いました。今後は、教育課程に位置づけるとともに、校長会等での情報交換を行ない、研究の共有を図ります。

Q 極めて悪質な例としては、数カ所のごみ収集場所に自動車部品が投棄されていました。また、腰越・古寺地区の林道にも見られました。職員によるパトロールも実施していますが、限界もあります。各地域での監視や環境美化が抑止力につながるかと考えています。

A 現在、野菜全体の1割程度が町内産となっております。また、平成28年11月を目前に、町内産有機野菜（人参・大根・小松菜・にんじく等）においても、取り入れる方向で調整しています。

1 で支給しました。197件の実績に対してアンケートを行なった結果、96%の方が「家計に効果があった」としました。また、地域通貨券としたことから、経済効果もあつたと考えています。

医療・介護・福祉

Q いきいきタクシー券事業を振り返り、課題等はあるか。

A 対象となる75歳以上の高齢者にあつても、運転免許証の所持や住民税課税の有無など、条件の把握・確認に苦労しています。

す。また、広報等での周知はもちろん、老人会への働きかけも行ないましたが、実績は伸び悩んでいます。さらには、利用できるタクシー会社が1社となつてしまったことも課題です。

Q 小川赤十字病院の運営支援として5000万円が支出された。新病棟の建設に当たり、町は要望書²を提出した経過があるが、受け入れられているか。

A 年度協定を結びながら、要望内容の実現に向けて取り組んでいます。できていないところは、今後も要望していきたいです。

安全・安心

Q ダイオキシンの環境調査の実態は。また、下里地内で稼働する産廃業者付近の大気調査は。

A 年2回4地点（大河・竹沢・八和田・東小川各小学校屋上）で調査をしています。数値は基準値以下で問題ありません。また、指摘の民間事業者については、県が定期的に調査しており、異常はないと認識しています。

Q 不法投棄の現状と、防止策等の取り組みは。

A 本年度は、地域防災計画の改訂と、地域防災マップの作成に努めました。また自主防災組織（行政区）に対して、必要な資器材購入の補助を行いました。

大人気！ 大反響！ プレミアム付き商品券発行

まちづくり・暮らし

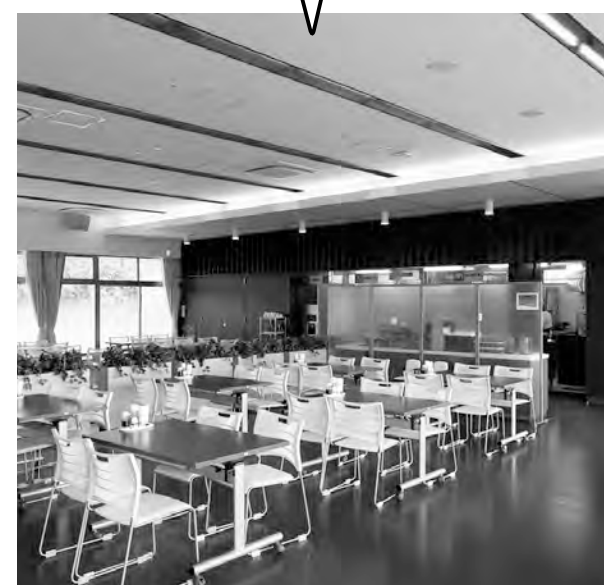
Q プレミアム付き商品券発行事業の振り返り。

A プレミアム率が30%であったので、魅力や効果は大きかったと考えています。取扱店舗の

9割以上が「加盟してよかった」とのことでした。一方で、販売方法にいたっては課題もあつたと認識しています。

Q 子供会やPTA活動で実施している資源回収を通じて、さらなるごみの減量化や環境教育

小川赤十字病院の新病棟最上階にできた食堂です。10階から望む景色はまた一興……。来院する皆さんや病院スタッフの憩いの場所に。



解説 要望書²
平成25年9月に、小川町を含む広域（12自治体）で構成する協議会で提出。主な事項は、①施設・設備・機能・医療機器の整備 ②病院の対応・サービスの向上 ③医療体制の充実等。

解説 地域通貨券¹
町内取り扱い店舗で使用できる共通商品券。



Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」

駅北側整備

Q 駅北側整備に向け設計や測量が行なわれたようだが、成果物をイメージ図のような目に見える形で示すことはできないか。

中央陸橋から望む駅北側です。北口開設をはじめ、駅北側整備には多くの町民が期待を寄せています。



A 成果物を公表することは難しいですが、今後は、設計に基づき改良工事を進めていく中で、目に見える事業として示していきたいと考えています。

町道228号線が未完成 254号バイパスの渋滞は

道路改良

Q 本年度も町道228号線(254号バイパス迂回路)の工事完了がかなわなかったが、**A** 町単独費では財政的に厳しいので、国の補助金を得て進めています。しかし、希望した額の満額を得ることができません。

でした。引き続き、補助金を要望しながら進めていきます。**Q** 環状1号線の進捗は。**A** 本年度は、槻川にかかる橋梁の下部工1基・道路排水溝200メートル分が主な工事内容となりました。計画の完了にはまだ2、3年はかかると感じています。

平成27年度特別会計決算 に関する質疑

保養所の充実

Q 指定の保養施設の宿泊利用に対して助成を行なっているが、近隣町村と比べて充実したものと

A 県内では約3分の2に当たる団体が助成を行なっています。また、対象として、宿泊数は1〜3泊・助成額は1泊当たり1000〜3000円と、団体によって差異があります。当町は

1人2泊までを対象とし、1泊当たり2000円を助成していません。増額等は考えていません。

30歳代健診

Q 実施状況は。**A** 生活習慣病予防の観点から行なっています。平成27年度は、対象者641人中、24人が受診しました。そのうち保健指導の対象となった方は14人でした。引き続き、啓発に努め、若いうちから病気等に対する意識を高めてもらうよう取り組んでいきます。

たいと考えています。

閉じこもり予防事業

Q 介護予防の一環で取り組んでいる閉じこもり予防事業とは。**A** 社会福祉協議会に委託し、「はつらつクラブ」として取り組んでいます。対象は65歳以上の要支援・要介護の認定を受けていない方で、閉じこもりがちが高齢者となります。本年度は、みどりが丘地区をはじめ7カ所で、延べ244回・3964人の利用がありました。

一部のマニアに大人気！ ご当地限定のマンホール蓋

マンホール蓋

Q ご当地限定のデザインがされたオリジナルのマンホール蓋が、一部のマニアに人気を集めている。人を呼ぶ資源の1つとしての考え方・展開は。**A** マニアに人気があることは承知しています。現在は、紙す

き娘をモチーフにした蓋を設置しています。

下水道事業

Q 都市計画税のほとんどが下水道整備に充てられている。なかなか接続件数・率が増えないようだが。**A** シルバー人材センターに委



(上) 紙すき娘・(下) 町の鳥メジロをモチーフにデザインされたマンホール蓋。ウォーキングがてらに探してみたいかですか。

水道料金の値上げ

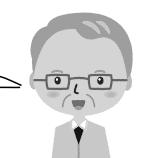
Q 給水人口の減少や節水型の設備が普及し、給水量は年々減少している。また、今後の水道設備の老朽化・更新を考えたとき、早期に料金の値上げを検討すべきでは。**A** 今後、給水施設や設備の更新に巨額の費用が見込まれています。財政の見通しや今後の水道事業のあり方等のコンサルティングを専門業者をお願いしている中で、それをもとに総合的な判断の中で、料金の値上げも検討していかなければならないと考えています。

託して、接続のお願いが上がっています。建物の立地状況から接続に係る費用が多額になる場合や、土地建物の賃貸借関係など、個々に接続できない課題があるようです。今後も粘り強く交渉に努めます。



20年前ごろは、一般質問に立つのは5~6人。今は16人中10人以上。結構なことですよ。

(T・Tさん・80歳)



小川町の行く末を案じます。議会の機能を十分に発揮してください。

(A・Hさん・70歳)



ギカイって何をするの。

(Y・Hさん・13歳)

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」

条例その他に関する質疑

障害者計画・障害福祉計画の見直し

Q 見直しの背景は。
A 都度、時代に合った障害者福祉を推進していく必要があります。平成25年に「障害者総合支援法」が施行されたことによ

り、障害者の定義等も変更されました。また平成28年4月には、障害者差別解消法も施行されたため、計画に反映させたいと考えたからです。

AQ 策定までのスケジュールは。10月以降に公募委員の募集を行ない、策定委員会を開催し

ます。その後、12月までに住民を対象（2400人規模）としたアンケートを行ないます。今年度はそのアンケート結果のまとめを行なう予定です。それぞれ新たな計画は平成30年度をスタート年度としているので、来年度中の策定に努めます。

柳町橋耐震補強工事

Q 一般競争入札とはいえ、工事

規模により経営状況・技術力等の条件を満たす町内業者は限られる。町内業者育成の観点から、工事の分離等の配慮はあったのか。
A 今回の工事は新工法を用いており、一定の条件を満たす業者でないと対応できないという判断に至りました。また、工事内容から分離しての発注は難しく、町内業者が入札しづらくなっていました。

平成28年度補正予算に関する質疑

B型肝炎ワクチン

Q いよいよ10月から定期接種となるが、町は4月～9月の間に先行して接種した方へも費用を払い戻すとのこと。対象者への案内や手続き等は。
A 約20名を想定し、広報等で周知を図ります。また、手続きとしては、領収書と接種済証の提出をいただき、払い戻しをします。

催いただいたが、今後の実施や展開等は。
A 当初は、にぎわい創出課での実施を考えていましたが、昨年度の婚活イベントが大変好評であったため、今年度も商工会青年部にお願いました。今後は、目的である「定住促進」や「人口増」等の検証を行ないながら、実施・展開等の判断をしていきます。

Q 東中・西中・和紙体験学習

お見合い大作戦

Q 昨年度、商工会青年部に主

PCB3廃棄物の処理

センターでそれぞれ保管されていたものと、不法投棄されていたものをあわせて処理すること、約1300万円の費用が見込まれている。率直に高すぎると思うが。また、処理に係る登録を受けた民間業者の参入等を背景に安価な対応がかなうはずだが。

東中の保管場所です。表示のとおり、その保管は適正・厳重に行なわれていました。



A 処理については、地域ごとに処分する事業所が決まっているということもあります。ご指摘も踏まえて、いろいろと研究し、適正価格・安価での処理に努めます。

解説 PCB3

Poly Chlorinated Biphenyl(ポリ塩化ビフェニル)の略称。耐熱性、電気絶縁性、耐薬品性に優れているため、加熱や冷却用熱媒体、コンデンサなどに広く使われていた。毒性が確認された後、平成13年に処理に関する特別措置法が施行され、廃棄処理が始まった。

審議した議案と議員の賛否をお知らせします

議案名	議員名	審議結果	根岸成美	戸口勝	宮澤幹雄	柴崎勝	島崎隆夫	大戸久一	松葉幸雄	金子美登	松本修三	高橋さゆり	山口勝士	高瀬勉	田中照子	笠原規弘	井口亮一	笠原武	
小川町障害者計画・障害福祉計画策定委員会条例制定		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度一般会計補正予算（第2号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）		可決	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度介護保険特別会計（保険事業勘定）補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度下水道事業特別会計補正予算（第1号）		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度一般会計歳入歳出決算の認定		認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度国民健康保険特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定		認定	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度介護保険特別会計（保険事業勘定）歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度農業集落排水事業特別会計（事業勘定）歳入歳出決算の認定		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成27年度水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定		認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柳町橋耐震補強工事請負契約の締結について		可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※（○は賛成、×は反対、欠は欠席）議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

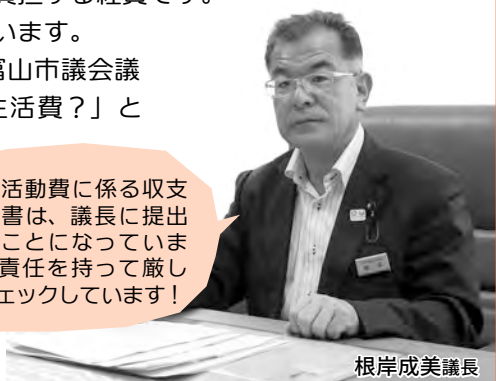
政務活動費を公開中

議員の調査研究活動のため、議員報酬とは別に、自治体が公費で負担する経費です。額や用途・支給方法等は、各自治体が条例で定めることになっています。兵庫県議会議員の不正受給をきっかけに、最近では富山県及び富山市議会議員の不適切な使用が明らかになりました。略して、「政活費＝生活費？」と揶揄されないように、当町議会では、「小川町議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、適切な交付・使用が図られています。

- ・ 1人当たり月額5000円（年額6万円）
- ・ 領収証の添付を義務づけ

収支報告書をホームページで公開しています。

政務活動費に係る収支報告書は、議長に提出することになっています。責任を持って厳しくチェックしています！



根岸成美議長

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



とくち まさはる
戸口 勝が問う

オリンピックの高揚を

Q 東京オリンピック・パラリンピックに向けた受け入れ態勢の準備と整備は、にぎわい創出課長 埼玉県が示すブラチナルート（川越〜秩父）構想に協力し連携を進めたいと考えます。

A JOCの開くオリンピック選手が先となる教室の実施や、JOCオリンピック支援自販機の設置は考えていないのか。

A 学校教育課長 財政難により、教室開催は厳しいです。また支援自販機については、研究してみます。

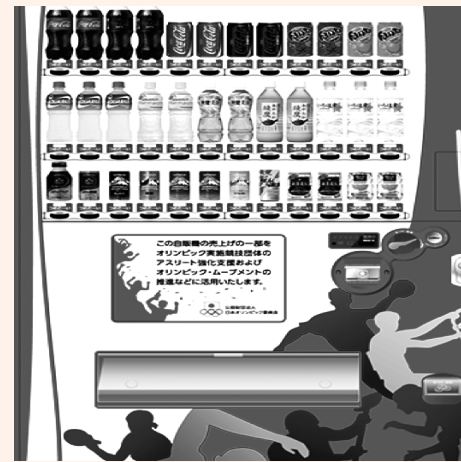
課題先進自治体として

Q 「全国の町村部で最も人口減少数が多い自治体」と新聞で報じられたが、正しい情報なのか。

A 政策推進課長 総務省が公表した結果を確認し、正確な記事であることが確認できました。

Q 人口減少・少子・高齢課題の先進自治体として国との連携、大学・関連機関との共同研究の実施は。

A 政策推進課長 国の「地方創生推進交付金」や県の「ふるさと創造資金」における、超少子高齢化対策モデル支援事業において、随時助言をいただき進めています。共同研究の実施については、検討していません。



東京オリンピックに向けて盛り上げよう。



まつもと まさみち
松本修三が問う

町有施設の整備の年次計画を

Q リリックおがわ・公民館・学校等は建設以来30年以上が経過し、老朽化が進んでいる。今後同時期にやってくる改修・改築計画の推進は。

A 政策推進課長 リリックおがわ、小川町公共施設等総合管理計画においても検討施設となっており、アセットマネジメント推進会議において駅周辺公共施設等再編の施設として、現在検討中です。中央公民館は建築後50年余りが経過した施設で、耐震補強だけでなく大規模改修が必要であるため、さまざまな観点から検討を加え、今後の方針を進めていきます。

Q 廃校以来6年余りが経過している旧上野台中学校の利用計画は。

A 政策推進課長 関係地区の区長と意見交換を行ないました。現在は、特別養護老人ホーム・保育所等の子育て支援施設立地に向けて、県の関係機関に相談し検討中です。

仙元山周辺を花の山へ

Q 町長公約の「仙元山周辺を花の山へ」の現在の計画の進捗は。

A 町長 林道周辺は個人所有者が多いため、積極的に対応できていません。今後も、公園地内を中心に指定管理者と連携するとともに地域の皆様と協議し、魅力アップに努めていきます。



町民の利用度が高いリリックおがわ。



たかせ つとむ
高瀬 勉が問う

ポケモンGOの魅力と可能性は

Q 今回のブームはポケモン世代・ファンとしてはうれしい限りです。

A 配信に伴って、町に何か影響や反響はあったか。

Q 夏休みを迎えたタイミングでの配信開始であったが、取り扱いについては児童生徒への注意喚起は図ったか。

A 学校教育課長 各校で児童生徒・保護者に対して、「歩きスマホ」の危険性について周知を図るとともに、交通安全確保や危険行為防止に係る指導をしました。

Q 集客や地域おこしへの活用、地元の魅力・観光資源の再発見等に期待を寄せるが、取り組み・研究の価値はあるか。

A にぎわい創出課長 GPSで取得した位置情報を利用することでの地域活性化や観光振興等、何らかのヒントになるものと期待し、今後も注目していきます。

その他の質問

・超少子高齢社会への手立ては
・第68回七夕まつりを振り返って

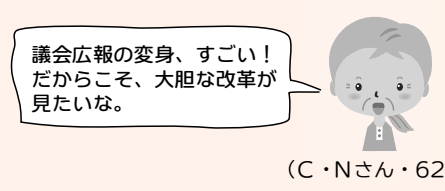


ポケストップが集中している場所です。運がいいとピカチュウも出現。さて、ここはどこでしょう。



このごろの議会は、何か親しみやすい感じがします。

(K・Kさん・68歳)



議会広報の変身、すごい！だからこそ、大胆な改革が見たいな。

(C・Nさん・62歳)



町民へ伝える役割と方法をもっと重視して。

(T・Sさん・30歳)



町民から選ばれた人たちなんだから、もっと頑張れるはず。

(C・Oさん・49歳)

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」

本会議における一般質問の議員1人の持ち時間は、答弁も含めて75分以内と決められています。



関わりから
住んでいる
充実感が。

山口勝士が問う

みんなが関わる まちづくりを

Q 高齢者の不安を解消し、積極的にまちづくりに参加するためにも、地域で支え合う具体的な取り組みを。

A 長生き支援課長 今年度「地域づくりによる介護予防推進支援事業」に取り組んでいます。県や理学療法士の協力で「百歳体操」の指導者育成を始めました。町全体にこの体操を普及させ、地域での介護予防を推進します。県は、平成29年度実施に向け「健康マイレージ制度」を準備していますが、町でも勉強会に参加しています。また、8月31日に設立した「生活



部品の調達も難しく、突然の故障でアウトか。

井口亮一が問う

伝統工芸会館の 空調設備更新は

Q 町が発行している「エコタウン通信」では低炭素社会の実現に向けた取り組みが紹介され、庁舎エコオフィス化改修事業による二酸化炭素排出量及びコスト削減状況などが丁寧に知らされている。こうした「エコオフィス化」の取り組みは今後とも推進されていくものと期待される。ところが、観光の拠点施設である伝統工芸会館の空調設備の老朽化が心配である。設備の更新計画はできているか。

A にぎわい創出課長 開館以来、約26年を経過し空調設備をはじめ、ほと



今こそ声を上げなければ、日本の平和が危ない。

笠原 武が問う

小川町の平和に 対する認識は

Q 庁舎前の「非核平和都市宣言の町」の掲示支柱が倒れたままになっている。いつ立てるつもりなのか。

A 総務課長 現在立っている「人権尊重都市宣言」の看板も劣化が進んでいます。その状態を勘案して検討します。ほかの宣言も含めて、4つの宣言を1つの看板で表示したいと考えています。

Q 「原水禁止世界大会」に向けての全市町村を回る平和行進に対する町の寄附(1000円)は、比企都市の市町(3000円)と比べてなぜ低いのか。認



全国に広がる百歳体操。広がれ小川でも。

支援・介護予防サービス推進協議会」で、地域資源の整理や地域の強み、必要なサービスの検討をし、地域の支え合いの拡充に向け連携・協働をしていきます。

和紙文化からの町の活性化を

Q 五輪文化プログラムへの参画は。

A にぎわい創出課長 オリジナル・ピック・パラリンピックにおける文化プログラムには、埼玉県として「和紙・細川紙」を取り上げています。現段階では詳細は未定ですが、積極的に取り組み、和紙製品の提供やイベント等、できることからしっかりと進めます。なお、ユネスコ登録2周年の11月26・27日に「小川和紙フェスティバル」を開催、和紙文化の発信に努めます。



老朽化が進む伝統工芸会館の空調設備。

などの施設について大規模な修繕等は行なっており、故障するたびに、その都度修理で対応しているのが現状です。

地球温暖化防止の規制が強化される 中、引き続き運転は続けられるのか。

Q にぎわい創出課長 空調機に使用されている冷媒(R22)は地球温暖化防止条例により、平成32年度までには製造が禁止され全廃されることになり、修繕等も厳しい状況になります。

A 急な故障にどう対応していくのか。また、更新の見通しは。

Q にぎわい創出課長 まず設備更新にかかる費用などの見込みを算出することとし、町の公共施設等総合管理計画を推進する中で実現に向けて真剣に検討したいと思います。



中央公民館前の看板。庁舎前も立てなくては町の「宣言」が泣きます。

A 総務課長 寄附額の多少で判断するのではなく、メッセージにより賛同していることをご理解願います。

町民の力を借りた観光事業を

Q 町民の意見をよく聞き、行政はそれをまとめ指導していかなくてはいけないと思うが。

A にぎわい創出課長 意見や要望等を町や観光協会として取りまとめ、新しい取り組みや地域おこし事業を提案しながら、積極的に取り組んでいきたいと思

その他の質問
・デマンド型交通問題

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」



(Y・Oさん・32歳)

休みが合えば傍聴に行ってみたいです。



(S・Mさん・18歳)

将来の夢は小川町の議員になることです。

解説 冷媒(R22)は
環境保護対策として、古い業務用エアコンによく使われていたフロンガス。

未来の地域づくりは、私たち住民の手にかかっている。



しまぎたかお
島崎隆夫が問う

水資源を活用する施策の推進を

Q 雨水の利用の推進に関する法律が施行されたが、雨水タンク等の利用推進のための施策は。また、水循環基本法の考えから、渇水や災害時の水の確保・憩いの場の演出等を考えて、地下水利用のために井戸の新規掘削に補助を考えては。

A 上下水道課長 浄化槽を雨水貯留施設に転用する補助金がありますが、利用が少ないため、さらに周知します。また、井戸の掘削は、費用の個人負担が大きいため、補助をしても利用は少ないと考えます。

Q 畑の耕作者の水源確保のため、法律をもとに畑に井戸を掘る・貯水タンクを置く・貯水池をつくる等を推進しては。

A 環境農林課長 多くの耕作者がタンク等で水を確保していることは承知していますが、推進の考えはありません。

まず、第70回七夕まつりに向けて

Q 今後も盛り上げ続け、2020年東京五輪で当町の文化を世界に伝える絶好の機会としたい。パリアフリーの駐車場や外国人向け案内板等を用意する。また、花火を見る場所等の情報発信をしては。

A にぎわい創出課長 先進情報を研究してまいります。

その他の質問

・外来生物法を伝えるべきでは



七夕まつりをもっと魅せましょう！
そして、世界に向けてつばやこう！
(町保有の細川紙製のねぶた)

自分の命は自分で守る！でも公助や共助も大切です。



たかはし
高橋さゆりが問う

町民に対し防災意識の徹底を

Q 小川町地域防災計画の中で、「町民の果たす役割」「自主防災組織の果たす役割」「事業所の果たす役割」が示されている。周知の徹底は。

A 総務課長 町民に対しては、「防災マップ」の配布を行いました。また、水害や土砂災害に関する「防災のお知らせ」を配布し、情報の周知に努めています。さらに、ホームページが充実し、動画による学習もできるようになっています。次に、自主防災組織（行政区）に対しては、年度初めの区長会総会の場で、災害時における行政区の役割を説明し、関連資料の配布を行ないました。一方で、各事業所に対しては、周知できていない状況です。今後、何らかの周知方法を検討します。

Q 熊本地震では庁舎も被害を受け職員も被災者となつてしまい、機能するはずの活動体制がストップしてしまつた。教訓や課題は。

A 総務課長 特に高齢者や障害者等の要援護者に対する行政サービスの不足・女性の避難所生活への配慮等が挙げられます。避難行動要支援者の個別計画等の策定を進めるとともに、避難所でのプライベート空間を確保するための間仕切りパネル等も考慮していきます。

その他の質問

・地域包括ケアシステムの取り組みは



どんなに立派な防災計画やマップも町民に周知・理解してもらわなければ意味がありません。

キューバは医療と教育費は無料。学ばること大の国です。



かねこよしのり
金子美登が問う

五輪キャンプ地誘致の推進を

Q 4年後は東京五輪。オーガニックヴィレッジジヤパンの服部幸應理事長（服部料理専門学校校長）は、「五輪の選手村とキャンプ地をオーガニックにしよう」キャンペーンを実施。私たち、有機農業関係者も連携して進めている。そこで国際平和にもつながるこの件について、当町の考えは。また、これには小川・嵐山・滑川・ときがわ・東秩父の5町村での協力・推進がベストと思われるが。

A 政策推進課長 キャンプ地誘致は、競技術手・関係者と町民との交流も

含め、意義ある取り組みと考えます。一方、当町及び各自治体の推進には環境整備や財政負担、さらに誘致以降も続く文化交流の継続等、課題があると認識しています。県や他市町村と連携した場合、どれだけ課題解決できるか現時点では不明です。まずは、5町村内における気運の醸成が不可欠であると考えます。

Q 旧ソ連崩壊後の1991年、国を挙げて有機農業の自給に転換したキューバに視察団長として訪問以来、大使館等との縁があり好感触を得ている。寄居町はプータン、当町はキューバを誘致しては。

A 副町長 夢のある話と思うと同時に課題もさまざまあると認識しています。まずは町長決断の前に、5町村集まつて事務レベルで可能性を探りたい。



チェ・ゲバラのモザイクで有名なキューバの官庁前の広場。

Mini Column
オガワマチのこと
ギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会のイメージ・期待することは」

9月議会。決算審議を傍聴しました。次から次へと質疑が飛び出し驚きました。
(S・Nさん・62歳)

「地域の要望をいかに議会に届けるか」と「町の行政をしっかりと監視すること」が議員の役目です。
(E・Sさん・81歳)

町民に寄り添い、同じ目線で同じ方向を向き、小川町の未来のために尽力してほしい。
(T・Nさん・40代)



アツと驚く
アイデアを
考えようよ。

おおとひさかず
大戸久一が問う

思い切った少子化対策を

Q 「子育てするなら小川町」と言われるような独自の子育て支援策を。まずは経済的負担を軽減するための第2子以降の保育料無料化は。

A 子育て支援課長 現在、第3子以降の保育園に入園する0・1・2歳児の保育料を無料としています。各種アンケートから、最も多くの夫婦が望んでいる支援として「第2子からの保育料無料化」を実現するためには、対象者197人、年間3600万円の財源が必要になり、その有効性は理解できませんが、現在は踏み切る

状況にありません。

Q 「みんなやさしく親切、特に子育てに理解があり、思いやりと郷土愛いつばいの町」の実現を目指した学校教育・社会教育を。

A 学校教育課長 現在中学校では、赤ちゃんふれあい体験事業、技術・家庭科で保育実習を行ない、体験活動をとおして子育てや妊婦の方々に対する理解を深め、思いやりやさしい心を育てています。また、小学校3、4年生で郷土の歴史・文化を、中学校3年生で小川町の行政と課題について学び、地域への社会参加意識を高め、今後もあらゆる機会を通じて、町民の子育てに係る理解や郷土愛がさらに深まるよう、やさしいまちづくりに努めます。



子育て支援センター内。
子どもたちの姿に自然と顔もほころびます。

一部事務組合議会 って何ですか？



おかわ

複数の自治体が、行政サービスの一部を共同で行なうことを目的として設置する組織のことを「一部事務組合」といいます。

比企管内では、ごみ処理や消防・救急、火葬場の運営等を行なうために、3つの一部事務組合議会を設置しています。

参加している自治体からはそれぞれ議員を選出し、定例会等を開催して審議していますので、その内容をお知らせします。

可燃ごみ処理

すべての地権者から 同意を得る

埼玉中部資源循環組合議会（吉見町議場）平成28年8月10日に第2回定例会が開催されました。平成27年度一般会計歳入歳出決算など4議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。本年度に実施予定だったバイオガス化施設整備に係る調査業務は、繰り越して平成28年度に実施しています。また後日、新ごみ焼却施設の建設予定地すべての地権者から、同意を得た旨の報告がありました。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会

東松山斎場の整備計画が 示される

比企広域市町村圏組合議会（東松山市議場）平成28年8月9日に第2回定例会が開催されました。平成27年度一般会計のほか各特別会計の決算の認定など14件を審議、いずれも原案のとおり可決しました。一般質問は3人が登壇し、主に東松山斎場の改築工事について考え・意見を求めました。全会計における町の負担額は約5億3000万円で、そのほとんどが消防特別会計に支出したものです。なお、「東松山斎場施設整備基本計画」が示されました。

ごみ処理・し尿処理

し尿処理施設の 改修工事が始まる

小川地区衛生組合議会（小川町議場）平成28年8月12日に第2回定例会が開催されました。平成27年度一般会計歳入歳出決算、平成28年度一般会計補正予算など5議案を審議し、いずれも原案のとおり可決しました。嵐山町志賀にある池ノ入環境センターし尿処理施設は、建設以来20年が経過し、老朽化が進んでいます。これまでに積み立てた基金を使用して、約5億円規模の改修工事を平成28～29年度の予定で実施します。

地域貢献 できるように 頑張ります



奥平美佳さん（本二）
Mika Okudaira

私 が、小川町で生活するようになり15年が過ぎました。嫁ぎ先が自営業のため、私も結婚してすぐに家業を手伝うようになりました。右も左もわからぬままでしたが、ご来店いただくお客様や、毎月のガスの検針先でお会いするお客様などに支えられ、無事に15年を過ごすことができました。本当に感謝申し上げます。その間に生まれた2人の娘も町内の中学校、小学校でそれぞれ元気に生活させていただいています。

私が仕事・育児・家事に追われながらも感じていたことは、小川町は四季折々の自然が豊かであり、人々も穏やかで、本当に住みやすくよい町であるということです。同世代の方々の地域社会への貢献も活発で、小川町をよりよくしていこうとする気持ちが伝わってきます。私も微力ですが、地域貢献できるように頑張っていきたいと思います。

わたしの
ヒトコト

小 川町に住んで三十数年になります。つくづくいい町だと思っています。

私は横浜の生麦に生まれ、東京は板橋、静岡は沼津、愛知県は蟹江町で幼少年時代を送り、青年時代は東京の新井薬師、練馬の江古田、新宿の百人町に住んで、社会に出てからは上尾、川越に住んでそれから小川町に越してきました。それらの自分の過ごしてきたところと比べても、小川町はいい町です。

その理由は、まず自然が豊かなところ。また、昔からの習慣を大事に受け継ぎ、紙すきの技術や酒造、祭り、有機農業といった伝統文化や産業が隆盛しています。さらに、多方面で活躍する才能にあふれた方たちがたくさんおり、いろいろな場所・機会、草の根的な活動もされています。東京からのアクセスも容易な地の利を生かし、町民の皆さんと一緒に力を合わせ、この町を未来に向けて育てていきたいものです。



みんなで築こう 未来の小川町

長倉正昭さん（飯田）
Masaaki Nagakura



議員の

聞く



つ

な

ぐ

町の声

保育園編

議会だよりを
読んだことが
ありますか？

いいえ 8人
はい 7人

これを機会に
議会報を
読んでみてね♪



竹沢



大河

議員が町の声聞き、つないでいくという新企画「議員の聞く×つなぐ」。

第2回は7月～9月の間、八和田・大河・竹沢の各町立保育園で実施された「保護者の保育士体験」を取材させていただきました。

「保護者の保育士体験」の感想は？

- ・立場を変えて見る子どもたちの姿は新鮮でした
- ・保育士の皆さんの日々の大変さがよく分かりました
- ・今後も続けてもらいたい事業です
- ・本当に先生方に感謝感謝!!



八和田

この際、言わせて！

(原文のまま掲載しています)

- ・大河保育園の園庭は、雨が降ると毎回ぐちゃぐちゃになるので、なおしてほしいです
- ・大河保育園のテラスを直してください
- ・親の参加するイベントが多すぎる…
- ・少子化と人口減少への対策を!! また、新しい人が住んでくれる町に
- ・特になし。なるようになると思うので
- ・18歳まで、こども医療費の無料化を
- ・小学校の運動会について、親子でお弁当を食べるのをやめていただきたいです
- ・子育てがしやすい町になってほしいなと思います
- ・給食費をタダにしてほしい
- ・土曜日も授業してほしい

ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました

傍聴から はじめよう!!

どなたでも傍聴できます (事前連絡は不要です)
役場3階にお越しください

次回定例会は
12月1日(木)~
開会は**10時**です



傍聴席の
定員は
40名



No.81
小川町議会だより
平成28年9月定例会秋号
(11月1日発行)

発行責任者：小川町議会議長 根岸成美

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高瀬 勉 副委員長 田中照子

委員 戸口 勝・笠原 武・島崎隆夫・笠原規弘

編集後記

天高く馬肥ゆる秋。動物(人間)も、植物(農作物)も、夏の暑さや雨風に耐えて活動の秋、実りの秋を迎えました。皆様にとっての「〇〇の秋」には、何が入りますか。議員になってからの私は、研修が当てはまります。官民を問わず、先進の事例について、個人・議員同士などで研修に出向きます。そして、より住みやすい町になるように提言をします。当然、議会だよりの編集技術も向上心を持って取り組んでまいります。どうぞ期待。(島崎隆夫)

